

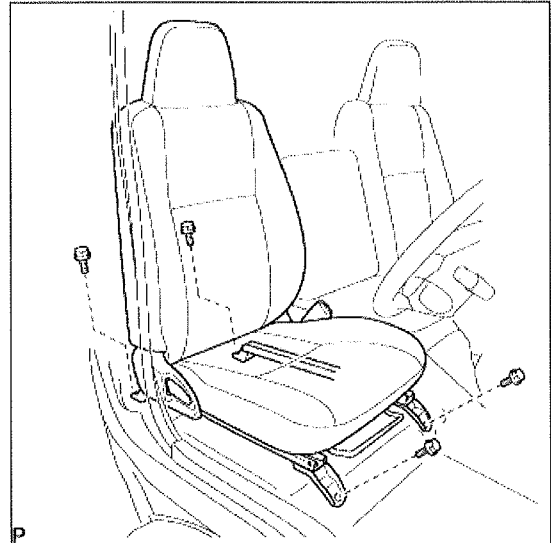
タイミングベルト(2KD-FTV) 取り外し

1. エンジン アンダカバー NO.1取りはずし(駆動方式2WD)

2. エンジン アンダカバー NO.1取りはずし(駆動方式4WD)

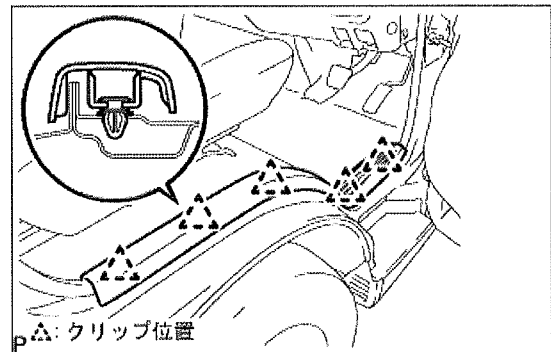
3. フロントシートASSY RH取りはずし

- a. フロントシートASSY RH をフロントモーストにする。
- b. リヤ側のボルト2本を取りはずす。
- c. フロントシートASSY RHをリヤモーストにする。
- d. フロント側のボルト2本を取りはずす。
- e. フロントシートASSY RHのシートスライド位置をセンタに、およびシートバックを垂直にする。
- f. フロントシートインナベルトASSY RHのコネクターを切り離す。
- g. フロントシートASSY RHを取りはずす。



4. フロントドア スカッフプレート RH取りはずし

- a. クリップのかん合5箇所をはずし、フロントドアスカッフプレートRHを取りはずす。

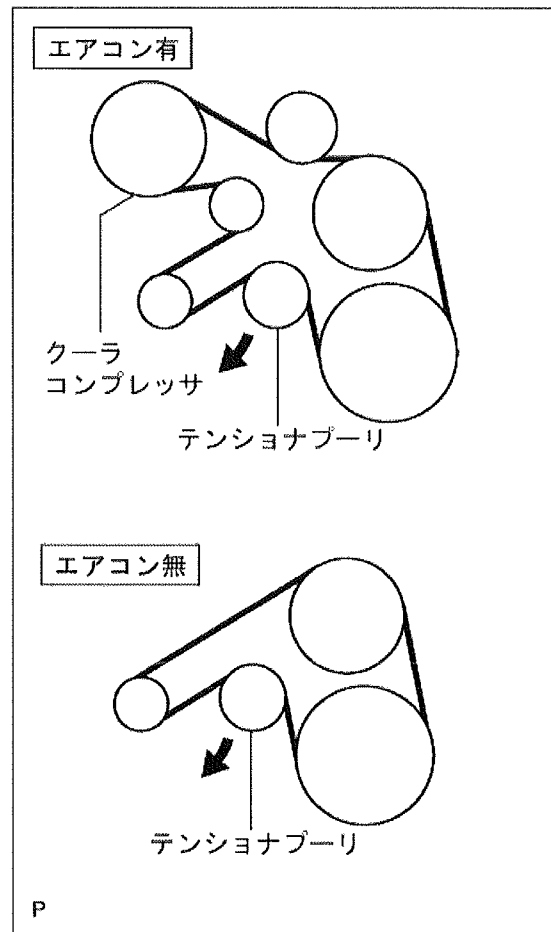


5. エンジン サービスホールサブカバー取りはずし

- a. カーペットをめくり、ボルト5本をはずしてエンジンサービスホールカバーを取りはずす。

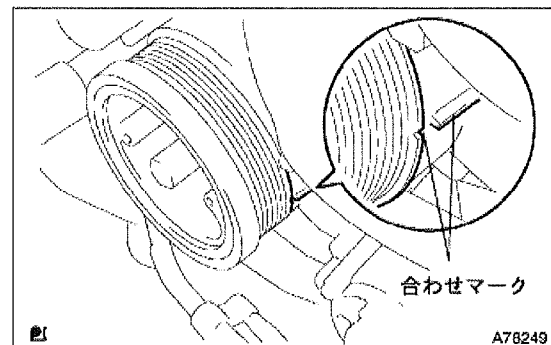
6. ファン & オルタネータ Vベルト取りはずし

- a. テンショナのプリーセットボルトを使用して、テンショナプリーを時計方向に回転させ張力をゆるめ、Vベルトを取りはずす。



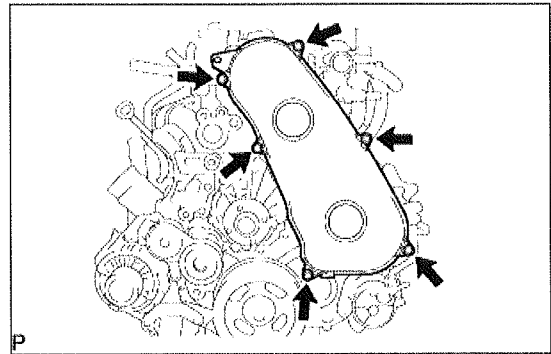
7. No.1シリンダ圧縮上死点セット

- a. クランクシャフトを正回転させて、クランクシャフトプーリの切り欠きとタイミングギヤケースカバーの突起部を合わせる。



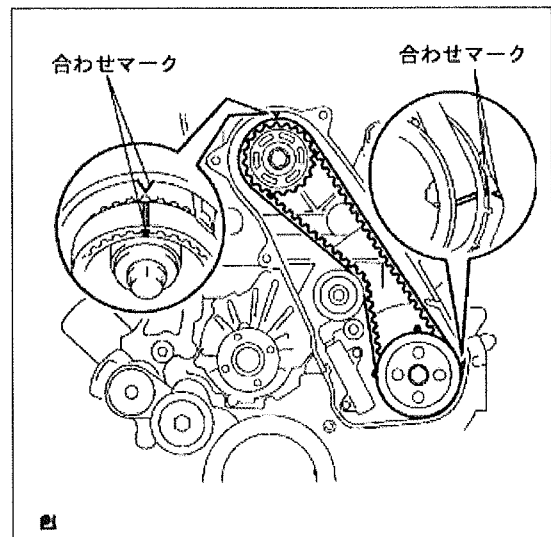
8. タイミングベルトカバー NO.1取りはずし

- a. ワイヤーハーネスクランプを切り離す。
- b. ボルト6本をはずし、タイミングベルトカバーNo.1を取りはずす。

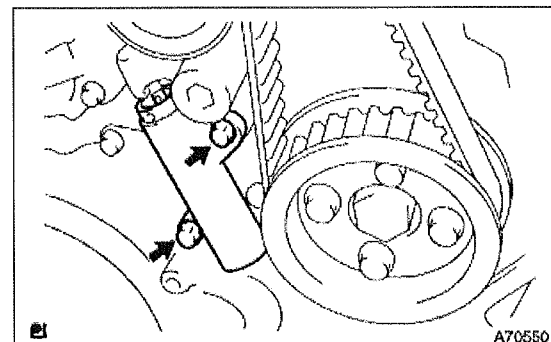


9. タイミングベルト取りはずし

- a. クランクシャフトを正回転方向に回転させ、各プーリの合わせマークを合わせる。



- b. ボルト2本を均等にゆるめ、テンショナを取りはずす。
- c. タイミングベルトを取りはずす。



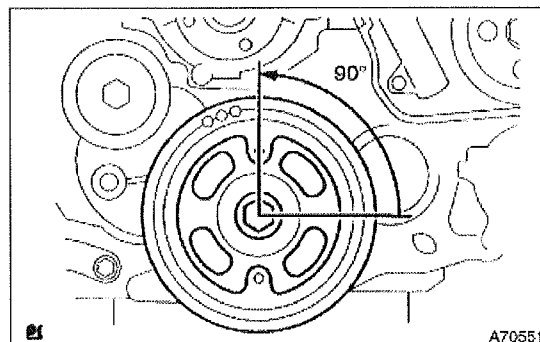
準備品一覧

1. ピストンおよびバルブ破損防止作業

- a. タイミングベルトがはずれた状態でカムシャフトを回転させる場合は、クランクシャフトを90° 逆回転させる。

■ 注意 ■

- タイミングベルトがはずれた状態で、クランクシャフトを絶対回転させない。(ピストンとバルブが干渉して破損する可能性がある)
- タイミングベルト取り付け時は、必ずカムシャフトを合わせマーク位置に戻した後、クランクシャフトを正回転させて合わせマーク位置にセットする。



2. タイミングベルト アイドラ NO.1点検

- a. プーリを手で回転させ、スムーズに回転することを確認する。
- b. シール部にグリスが飛散していないことを確認する。

■ 注意 ■

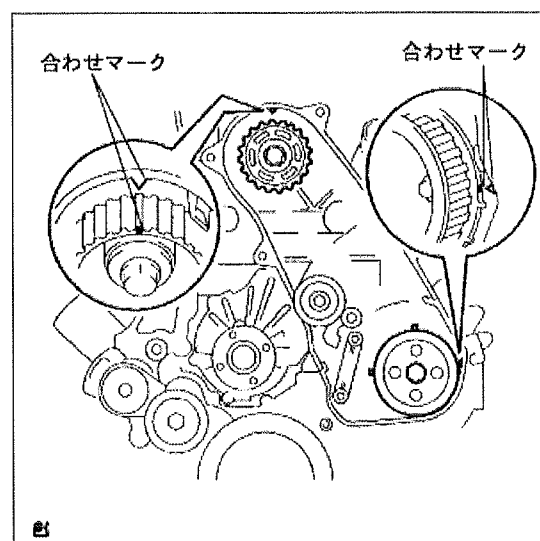
- タイミングベルトおよび各プーリに水およびオイルなどの付着が認められた場合は、漏れまたは侵入箇所を修復する。
- 各プーリは取り付け前に必ず汚れをウエス等で拭き取る。
- タイミングベルトアイドラNo.1は、必要時以外は取りはずさない。

3. タイミングベルト取り付け

- a. 図のように各プーリの合わせマークを合わせる。
- b. タイミングベルトをポンプドライブシャフトプーリ、カムシャフトタイミングプーリおよびタイミングベルトアイドラNo.1の順序で取り付ける。

□ 参考 □

タイミングベルト背面の白線が、各プーリの切り欠きマークと合うようにタイミングベルトを取り付ける。



- c. テンショナをまっすぐプレスにセットする。

■ 注意 ■

- ロッドの先端が傷つかないようにウエスなどで保護する。
- テンショナロッドが上向きの状態で圧縮する。

- d. テンショナのロッドをゆっくり圧縮し、ロッドおよびシリンダの穴を合わせ六角棒レンチ(二面幅1.5mm)を貫通させる。

■ 注意 ■

ロッドへの荷重は9.8kN[1000kgf]以上加えない。

□ 参考 □

ロッドおよびシリンダの穴を合わせ場合は、プレス圧縮過程で穴を合わせ六角棒レンチを貫通させる。

- e. 六角棒レンチが取り付いた状態でテンショナを取り付ける。

基準値

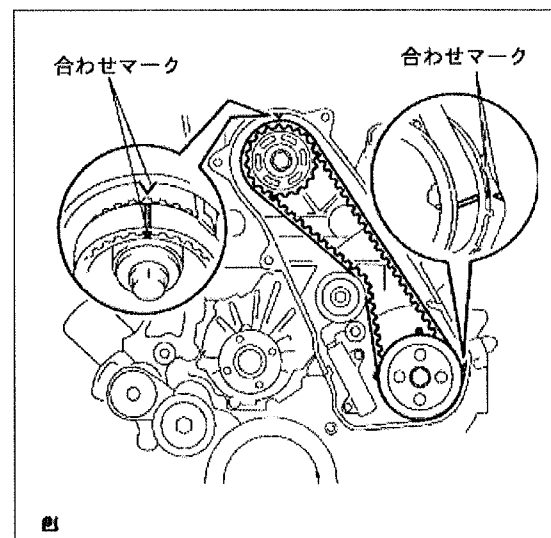
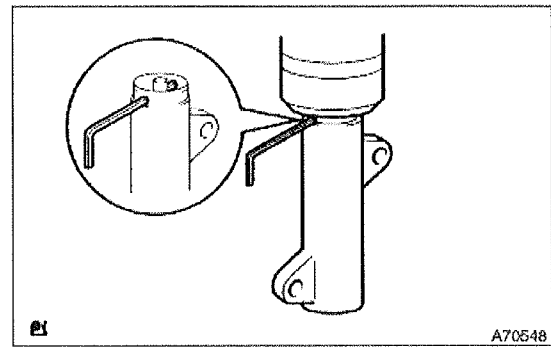
$$T = 13 \text{ N} \cdot \text{m} [130 \text{ kgf} \cdot \text{cm}]$$

■ 注意 ■

テンショナが傾いて取り付くと正常に機能しないので、ボルトは均等に締め付ける。

- f. テンショナから六角棒レンチを引き抜く。

- g. クランクシャフトを正回転方向に2回転させ、各プーリの合わせマークが合っていることを確認する。



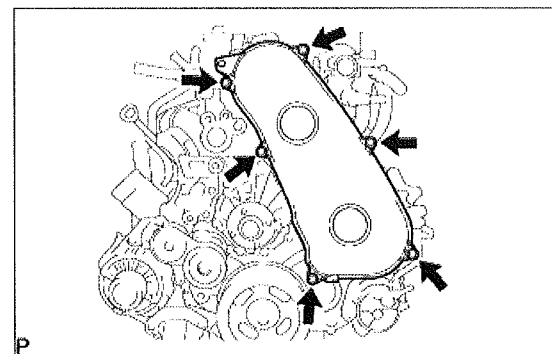
4. タイミングベルト カバー NO.1取り付け

- a. ボルト6本で、タイミングベルトカバーNo.1を取り付ける。

基準値

$$T = 6.0 \text{ N} \cdot \text{m} [61 \text{ kgf} \cdot \text{cm}]$$

- b. ワイヤハーネスクランプを接続する。

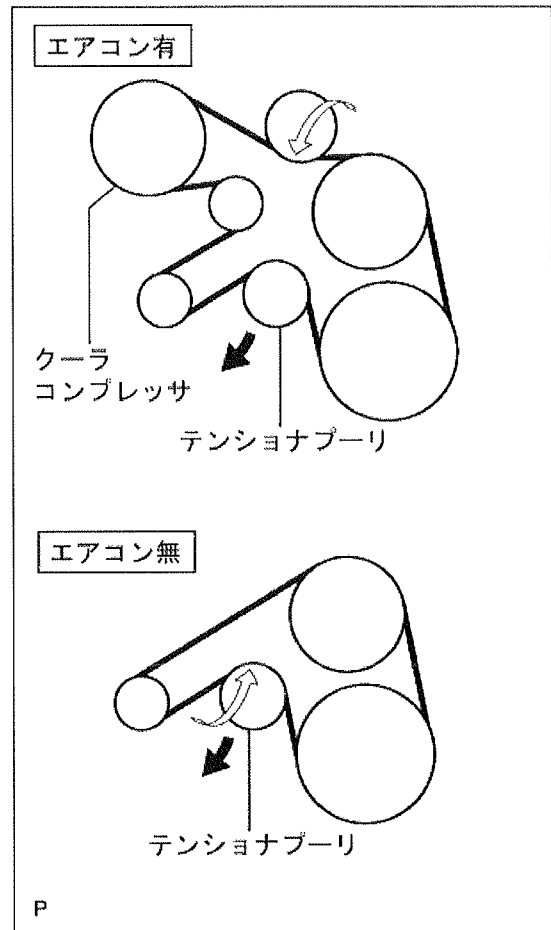


5. ファン & オルタネータ Vベルト取り付け

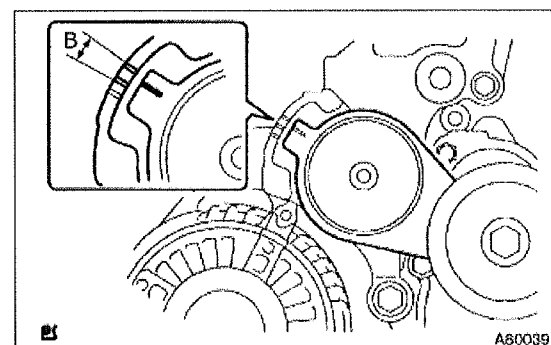
- a. テンショナのプーリセットボルトを使用して、テンショナプーリを時計方向に回転させた状態にし、図の位置でVベルトを取り付ける。

■ 注意 ■

各プーリにVベルトが正しくセットされていることを確認する。



- b. テンショナのインジケータマークが、図のB範囲内であることを確認する。



6. エンジン サービスホールサブカバー取り付け

- a. ボルト5本で、エンジンサービスホールサブカバーを取り付ける。
基準値
 $T = 13 \text{ N} \cdot \text{m} \{ 133 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \}$

7. フロントドア スカッフプレート RH取り付け

8. フロントシートASSY RH取り付け

- a. フロントシートASSY RHを車両に乗せ、フロントシートインナベルトASSY RHのコネクターを接続する。
- b. フロントシートASSY RH アジャスタのピンと車両側の穴を合わせる。

- c. フロントシートASSY RHをリヤモーストにする。

■ 注意 ■

ロックしている事を確認する。

- d. ボルト2本で、フロントシートASSY RHのフロント側を仮付けする。

- e. フロントシートASSY RHをフロントモーストにする。

■ 注意 ■

ロックしている事を確認する。

- f. ボルト2本で、フロントシートASSY RHのリヤ側を仮付けする。

- g. フロントシートASSY RHをリヤモーストにする。

■ 注意 ■

ロックしている事を確認する。

- h. フロントシートASSY RHのフロント側のアウターインナの順にボルト2本を締め付ける。

基準値

$$T = 39 \text{ N}\cdot\text{m} \{ 398 \text{ kgf}\cdot\text{cm} \}$$

- i. フロントシートASSY RHをフロントモーストにする。

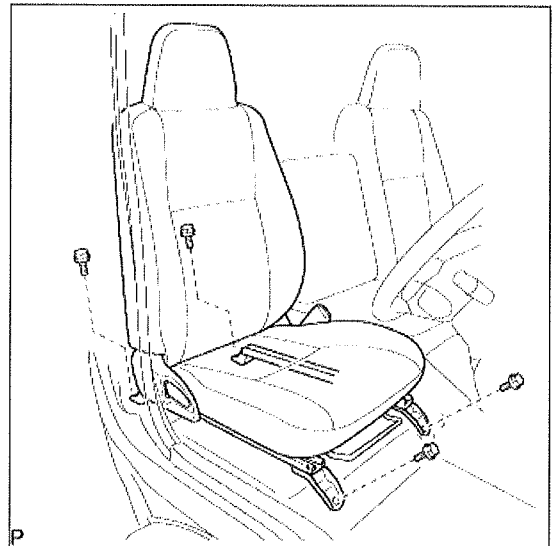
■ 注意 ■

ロックしている事を確認する。

- j. フロントシートASSY RHのリヤ側のアウターインナの順にボルト2本を締め付ける。

基準値

$$T = 39 \text{ N}\cdot\text{m} \{ 398 \text{ kgf}\cdot\text{cm} \}$$



9. エンジン アンダカバー NO.1取り付け(駆動方式2WD)

基準値

$$T = 13 \text{ N}\cdot\text{m} \{ 133 \text{ kgf}\cdot\text{cm} \}$$

10. エンジン アンダカバー NO.1取り付け(駆動方式4WD)

基準値

$$T = 13 \text{ N}\cdot\text{m} \{ 133 \text{ kgf}\cdot\text{cm} \}$$